

事業所名		児童発達支援・放課後等デイサービス とわね				支援プログラム（児童発達支援）		作成日	2024年	12月	10日	
法人（事業所）理念	様々な個性をもつ人間同士がお互いを認め合い、対等な人間関係を築き上げることで皆が幸せに暮らせる社会を目指します。大人たちは多感な子どもたちの成長を見守り、子どもたちは多くの人に触れ合うことで社会性を身につけます。運動を通じてお互いを高め合い、友情を育み、生きづらい世の中でもコミュニケーションを取れる力を身につけます。「ありがとう」と素直に言える子どもたちを育てます。子どもたちの「できたよ！」の笑顔を大切にします。											
支援方針	運動療育を中心に心と身体のバランスを保ち、自身が持つ可能性の気づきへと導きます。それぞれが違った障がいを持つ中で個性を認め合い、自信をもって社会に出られるよう支援します。											
営業時間	9時	0分	18時	0分	まで	送迎実施の有無	あり	なし				
支 援 内 容												
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・手洗いうがいの衛生力を高め、排泄マナーや清潔さを身に着けます。 ・時計を意識した行動を促し、準備や片付けを身に着けます。 ・水分補給や休息を適宜入れ、テンションのコントロールを学びます。活動に集中できる環境を整えます。 										
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・園で行う運動や就学に向けて体育で必要な運動スキルを学び、安全性を重視した体操器具を用いて身体の使い方を身に着けます。 ・姿勢が良くなるよう体幹を鍛えたり、身体の感覚刺激が入る運動を行います。 ・走る、跳ぶ、回るなど様々な動きを経験することで脳に刺激を与えます。又、人のまねをして動く、左右対象の動きをするなど脳から筋肉へ指令を出し、感覚総合を促します。 										
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・集団活動の中で自分にあった方法を学び、課題を達成する力を身に着けます。 ・数字を学び、日付や時計の認知力を高めます。 ・プログラムに沿った道具や場所の使い方を通して空間認知能力を高めます。 										
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・異年齢での集団の会話・個別の会話を通して、自己発信能力を高めます。 ・困りごとや自分がしたいことを適切に伝えられるようコミュニケーション能力を高めます。 ・ICT教材や絵本を通して文字を覚えたり、言葉の種類を増やしたり、表現方法を学びます。 										
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・ルールを覚えたり順番を待ったり、集団の中で遊ぶ力を身に着けます。 ・人との適正な距離感を把握出来るよう見守り、良好な関係を築けるよう支援します。 ・遊びの中で勝ち負けが生まれても楽しく参加できる力や、友達を応援する気持ちを養います。 										
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・療育中の様子など児童の情報提供と定期的な支援調整を行います。 ・児童の課題について聞き取りやモニタリングを行い、必要な助言や支援を行います。家族の不安や悩みなど相談に応じます。 					移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ・就学やライフステージの変化に対して、必要な支援について確認・検討し、支援内容に活かします。 ・併行通園の場合は、利用日数や時間等の調整します。 				
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・教育機関や子育て支援機関との連携を必要に応じたり、個別のケース検討のための会議へ出席をします。 ・弦打校区の防災士と連携し、災害・避難時の対応を確認しています。 					職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・支援者会議を都度行い、日々の振り返りや職員間の理解を高め支援に活かします。 ・社内外の研修へ積極的に参加します。 				
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ・地域交流・家族交流を含め、とわね以外のお子様と一緒に参加できることも祭りを開催しています。 ・季節に合わせたイベント（例：お誕生日、お花見、入園祝い、ハロウィン、クリスマス、節分、卒園祝い等）を行います。 ・体力測定を行います。 											

事業所名		児童発達支援・放課後等デイサービス とわね				支援プログラム（放課後等デイサービス）		作成日	2024年	12月	10日	
法人（事業所）理念	様々な個性をもつ人間同士がお互いを認め合い、対等な人間関係を築き上げることで皆が幸せに暮らせる社会を目指します。大人たちは多感な子どもたちの成長を見守り、子どもたちは多くの人に触れ合うことで社会性を身につけます。運動を通じてお互いを高め合い、友情を育み、生きづらい世の中でもコミュニケーションを取れる力を身につけます。「ありがとう」と素直に言える子どもたちを育てます。子どもたちの「できたよ！」の笑顔を大切にします。											
支援方針	運動療育を中心に心と身体のバランスを保ち、自身が持つ可能性の気づきへと導きます。それぞれが違った障がいを持つ中で個性を認め合い、自信をもって社会に出られるよう支援します。											
営業時間	9時	0分	18時	0分	まで	送迎実施の有無	あり	なし				
支 援 内 容												
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・手洗いうがいの衛生力を高め、排泄マナーや清潔さを身に着けます。 ・時計を意識した行動を促し、準備や片付けを身に着けます。 ・水分補給や休息を適宜入れ、テンションのコントロールを学びます。活動に集中できる環境を整えます。 										
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の体育で必要な運動スキルを学び、安全性を重視した体操器具を用いて身体の使い方を身に着けます。 ・姿勢が良くなるよう体幹を鍛えたり、身体の感覚刺激が入る運動を行います。 ・走る、跳ぶ、回るなど様々な動きを経験することで脳に刺激を与えます。又、人のまねをして動く、左右対象の動きをするなど脳から筋肉へ指令を出し、感覚総合を促します。 										
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・集団活動の中で自分にあった方法を学び、課題を達成する力を身に着けます。 ・数字を学び、日付や時計の認知力・時間の管理力を高めます。 ・プログラムに沿った道具や場所の使い方を通して空間認知能力を高めます。 										
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・異年齢での集団の会話・個別の会話を通して、自己発信能力を高めます。 ・困りごとや自分がしたいことを適切に伝えられるようコミュニケーション能力を高めます。 ・ICT教材や絵本を通して文字を覚え、文章を読む力を養います。 										
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・ルールを覚えたり役割分担を理解し、集団の中で遊ぶ力を身に着けます。 ・人との適正な距離感を把握出来るよう見守り、良好な関係を築けるよう支援します。 ・遊びの中で勝ち負けが生まれても楽しく参加できる力や、友達を応援する気持ちを養います。 										
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・療育中の様子など児童の情報提供と定期的な支援調整を行います。 ・児童の課題について聞き取りやモニタリングを行い、必要な助言や支援を行います。家族の不安や悩みなど相談に応じます。 					移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ・就学やライフステージの変化に対して、必要な支援について確認・検討し、支援内容に活かします。移行先の支援方針や支援内容等を確認し、児童に合った支援方法の確認や療育中の情報共有を行います。 				
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・教育機関や子育て支援機関との連携を必要に応じたり、個別のケース検討のための会議へ出席をします。 ・弦打校区の防災士と連携し、災害・避難時の対応を確認しています。 					職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・支援者会議を都度行い、日々の振り返りや職員間の理解を高め支援に活かします。 ・社内外の研修へ積極的に参加します。 				
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ・地域交流・家族交流を含め、とわね以外のお子様と一緒に参加できることも祭りを開催しています。 ・季節に合わせたイベント（例：お誕生日、お花見、入学祝い、ハロウィン、クリスマス、節分、卒業祝い等）を行います。 ・体力測定を行います。 											